

令和元年度「大阪府学校図書館研究集会」質疑応答まとめ

【小学校の部】

Q: 学校の規模は？

A: 児童数512名（前18クラス）教職員数40名

Q: 調べ学習は国語以外ではやっているのか？

A: 国語だけでなく、理科や社会など他の教科でも実施している。体育や音楽などのあまり調べ学習には馴染みのない教科も模索している。ただ今年度は研究授業が国語科で行う事が決まっているのでより意識的に行っているのがこの発表につながった。

Q: 図書館担当は担任を外れているのか？校務分掌は

A: 今年度は府内に6人しかいない加配を頂いているので担任から外れている。授業は図書に特化したものだけを行っている。分掌では図書館だけでなく他の業務も行っている。

Q: 授業計画はいつ立てるのか？

A: 学校図書館グループという部会がある。学校図書館担当が中心となっているが、加配がなくても出来るように組織で動いている。

Q: 読書ノート、読書手帳は高石市全体の学校で共通なのか？

A: 市での取り組みである。全ての小学校に配布している。使い方は学校によって違う。

Q: 調べ学習の様式やきまりの作成を具体的に教えてほしい。

A: 2学期より部内で話し合っ取り組んでいく予定である。

Q: 学校図書館担当と司書教諭の違いは？

A: 加配された学校図書館担当は司書教諭である。現在司書教諭は1名のみ。

【中高等部の部】

Q: G Suite の導入は図書館側に決定権があったのか？

A: 学校が導入したものに図書館がのっかた形である。

Q: G Suite このシステムはワード・エクセルと同じものということなのか？図書館の管理も全てこのシステムでやっているのか？

A: 簡単に言うと同じ。データの活用が簡単でどこからでもアクセスできるワード・エクセルのようなもの。

Q: ネットケットをはじめ情報リテラシー教育はオリエンテーションで行っているのか？

A: やっている。

Q: リクエストをはじめメールの確認・対応は大変ではないか？

A: 常に行っている。24時間どこからでもかのである。個人としてのアカウントもあるが図書館としてのアカウントもあるので図書館関係者全員で共有できる。

Q: G Suite のファイルは Google のサーバーに置くのでしょうか？

A: 個々人の ID に個々人の置き場所がある。容量は無制限といわれている。